

今シーズン国内15、16例目！ 香川県と宮城県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザを確認！！

11月23日、香川県と宮城県の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。

国内の家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン15、16例目となります。

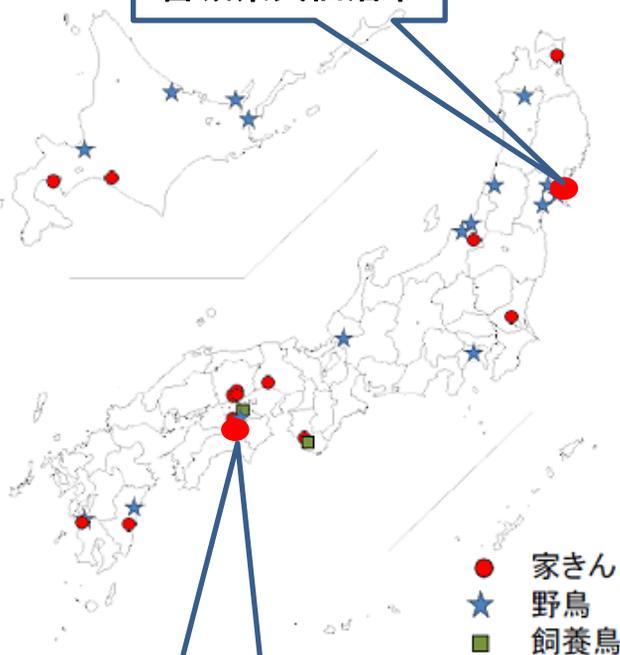
野鳥、飼養鳥でもHPAIウイルス陽性が44件確認されています(11月22日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策と異常発見時の早期通報をお願いします。

今シーズンのHPAI発生状況

宮城県気仙沼市

香川県観音寺市



【農場の概要】

- ・所在地 香川県観音寺市
- ・飼養羽数 採卵鶏 約1.4万羽
- ・疫学関連農場 香川県観音寺市(2農場、合計約2万羽)

【経緯】

11月22日(火)

- ・家きんの死亡増加の報告を受け、香川県が農場に立入り検査を実施
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

11月23日(水)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

【農場の概要】

- ・所在地 宮城県気仙沼市
- ・飼養羽数 肉用鶏 約2.1万羽

【経緯】

11月22日(火)

- ・家きんの死亡増加の報告を受け、宮城県が農場に立入り検査を実施
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

11月23日(水)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認